

授業科目名	対象学科・専攻	年次	期別
教育方法学（教育工学を含む。） Educational Method (including Educational Technology)	児童教育学科 初等教育学専攻	1年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	教員免許状取得 必修/選択必修	担当教員 担当形態
講義	2	必修	隅野 努 単独

科目	施行規則に定める科目区分又は事項等
道徳、総合的な学習の時間等の指導法 及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び機材の活用を含む。）

**○コアカリキュラム：教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）**  
 全体目標：教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）では、これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。

(1) 教育の方法論  
 一般目標：これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解する。  
 到達目標：1) 教育方法の基礎的理論と実践を理解している。  
 2) これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するための教育方法の在り方（主体的・対話的で深い学びの実現など）を理解している。  
 3) 学級・児童及び生徒・教員・教室・教材など授業・保育を構成する基礎的な要件を理解している。  
 4) 学習評価の基礎的な考え方を理解している。  
 ※幼稚園教諭は「育みたい資質・能力と幼児理解に基づいた評価の基礎的な考え方を理解している。」

(2) 教育の技術  
 一般目標：教育の目的に適した指導技術を理解し、身に付ける。  
 到達目標：1) 話法・板書など、授業・保育を行う上での基礎的な技術を身に付けている。  
 2) 基礎的な学習指導理論を踏まえて、目標・内容、教材・教具、授業・保育展開、学習形態、評価規準等の視点を含めた学習指導案を作成することができる。

(3) 情報機器及び教材の活用  
 一般目標：情報機器を活用した効果的な授業や情報活用能力の育成を視野に入れた適切な教材の作成・活用に関する基礎的な能力を身に付ける。  
 到達目標：1) 子供たちの興味・関心を高めたり課題を明確につかませたり学習内容を的確にまとめさせたりするために、情報機器を活用して効果的に教材等を作成・提示することができる。  
 ※幼稚園教諭は「子供たちの興味・関心を高めたり学習内容をふりかえったりするために、幼児の体験との関連を考慮しながら情報機器を活用して効果的に教材等を作成・提示することができる。」  
 2) 子供たちの情報活用能力（情報モラルを含む）を育成するための指導法を理解している。

**【全体目標及び概要】**

「学習指導」を念頭に、授業を成立させるための要件を「目標→方法→評価」の観点から学習し、教育方法にかかる理論と実践について学習する。  
 併せて、学校教育の今日的な課題を意識した実践者としての素養と指導力を醸成する。

【一般目標及び到達目標】	目標対応
(1) 現代の学校教育にまつわる基本的な内容を理解している。 1) 公教育としての学校が存在する理由を、自己の体験と結びつけて説明できる。	(1)-1)、2)
2) 子どもたちの置かれている現実を、時代背景や社会的条件と結びつけて説明できる。	(1)-1)
3) 学力の層に着目した教育方法について学び、その価値と方法を説明できる。	(1)-3)
4) 学習指導案の書き方について、基本的な構成と記述の要諦が説明できる。	(2)-2)
5) 教育評価について、単元の評価規準が必要になった理由を説明できる。	(1)-4)
(2) 先人の開発した教育方法について、授業実践に応用できる理論を取り出すことができる。 1) 教育方法学とは何かを説明できる。	(1)-1)、2)
2) 現代でも通用するソクラテス・ペスタロッチ・孔子の教育方法の特色を説明できる。	(1)-1)、2)
3) 授業の中の教師の指導性について、6人の例をあげて説明できる。	(1)-1)、2)、3)
(3) 授業の基礎技術についての知識を修得し、具体的な授業場面で活用することができる。 1) 授業を構成している三要素について、それぞれの関連性を含めて説明できる。	(1)-3) (2)-1)、2)
2) 発問と板書のはたらきについて、具体例をもとに説明できる。	(2)-1)

3) 教育メディア（資料）の種類と働きについて、機器の使用方法も含めて説明できる。		(3)-1)、2)
4) 机間指導・ノート指導・グループ学習の機能と働きについて説明できる。		(2)-1)、(3)-1)
5) 模擬授業を見て、授業の基礎技術を具体的に指摘できる。		(2)-2)
回数	教育方法学（教育工学を含む。） 授業内容 【隅野 努】	到達目標の番号 コアカリキュラム対応
1	オリエンテーションで、これから学んでいく方向性を理解する。「教育方法学とは何か」が明確になる。	(2)-1)
2	教育の場である学校の存在理由を、戦後の学校風景の資料をもとに理解する。	(1)-1)、(1)-2)
3	教育の対象である子どもたちが置かれている現実を、諸論文や様々な資料から分析することで理解する。	(1)-3)
4	学力を4つ層に分け、それらに関連させることの大切さ主張する学習理論による教育の方法について理解する。	(1)-4)
5	授業は学習者・教師・教材の三要素から成り立っていることを学び、子どもの側に立つ授業論を理解する。	(2)-1)、(3)-1)
6	教育方法の優れた先人として、ソクラテス・ペスタロッチ・孔子を取り上げ、それぞれの教育の特色を理解する。	(1)-1)、2)
7	国内外6人の優れた教師の実践例を学ぶことで、授業の中での教師の指導性の発揮の仕方を理解する。	(2)-3)
8	具体的な授業例をもとに、授業の基礎技術としての発問と板書のはたらきについて理解する。	(3)-2)
9	授業の基礎技術としての教育メディア（資料）の機能とはたらきについて学び、機器の使用方法について理解する。	(3)-3)
10	授業の基礎技術として、机間指導・ノート指導・グループ学習について、資料や演習を通して理解する。	(3)-4)
11	授業の計画書である学習指導案の書き方について理解する。	(1)-4)
12	6つの授業技術を駆使した中学校社会科の模擬授業を生徒として受けることで、具体的な場面での授業技術を実感できる。	(3)-5)
13	模擬授業を6つの授業技術の観点から分析し、特に発問・資料・板書について、その重要さを理解する。	(3)-5)
14	指導と評価の一体化の観点から教育評価について振り返り、学習指導案上にも単元の評価規準が必要なことを理解する。	(1)-5)
15	全15回の学習内容を「授業の流れ」の記録をもとに振り返り、教育方法についての理解を深める。	(1)(2)(3)のすべて
定期試験	実施する	
成績評価方法	授業への取り組み（関心・意欲・態度）50% 定期試験（知識・理解、思考力・判断力・表現力）50%	
テキストおよび参考文献	テキスト：『教育方法学』山口短期大学 参考文献：『教育の方法』山下政俊・湯浅恭正 編著 ミネルヴァ書房 『教育史』柴田義松・上沼八郎 編著 学宝社 『教育の方法と技術』柴田義松・山崎準二 編著 学宝社 『小学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）』東洋館出版	
メッセージなど	教壇に立つて役に立つ理論や方法を模擬授業的に学習します。 小学校教諭二種免許の必修科目です。	

ルーブリック評価を用いた成績評価

到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1)-1 公教育としての学校が存在する理由を、自己の体験と結びつけて説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	授業への取り組み (関心・意欲・態度)  定期試験 (知識・理解、思考力・判断力・表現力)	5%
(1)-2 子どもたちの置かれている現実を、時代背景や社会的条件と結びつけて説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		10%
(1)-3 学力の層に着目した教育方法について学び、その価値と方法を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		10%
(1)-4 学習指導案の書き方について、基本的な構成と記述の要諦が説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		10%
(1)-5 教育評価について、単元の評価規準が必要になった理由を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		10%
(2)-1 教育方法学とは何かを説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		5%
(2)-2 現代でも通用するソクラテス・ペスタロッチ・孔子の教育方法の特色を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		10%
(2)-3 授業の中の教師の指導性について、6人の例をあげて説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		10%
(3)-1 授業を構成している三要素について、それぞれの関連性を含めて説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		5%
(3)-2 発問と板書のはたらきについて、具体例をもとに説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		10%
(3)-3 教育メディア(資料)の種類と働きについて、機器の使用法も含めて説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	授業への取り組み (関心・意欲・態度)	5%
(3)-4 机間指導・ノート指導・グループ学習の機能と働きについて説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験 (知識・理解、思考力・判断力・表現力)	5%
(3)-5 模擬授業を見て、授業の基礎技術を具体的に指摘できる。	様々な角度から指摘できる。	いくつかの角度から指摘できる。	1つ以上指摘できる。	指摘できない。	グループ討議 (思考力・判断力・表現力)	5%